



(様式2)

2020年10月8日

始良市議会議長 様

会派名 志成会
代表者氏名 堂森忠夫



調査研究報告書

下記のとおり実施しましたので報告します。

記


- 1 日程 令和2年8月17日
- 2 場所 始良市公民館2階 第1.2.3会議室
- 3 目的 新庁舎建設とまちづくり勉強会
- 4 該当する政務活動費の用途項目 交通費・講演料
- 5 支出経費の内訳と金額 別紙
- 6 参加議員名 堂森忠夫・谷口義文・森川和美・萩原哲郎・松元卓也
国生卓
- 7 活動成果の概要、所見 別紙
- 8 成果物、資料等 別紙

領 収 書

納 入	住所	始良市官島町25番地		
	氏名	始良市議会志成会		
款	項	目	節	
	令和 2 年度 一般会計 特別会計()			
金額	百万	千	円	
		7	3	240
摘 要	収入金の種類	単価	枚数	金額
	8/7			
	12:00~16:00		×2室	
	会議室123	260	3H	1,560
	空調代123	280	3H	1,680
	減額(201打筆)			

上記のとおり領収しました。

金融機関領収日付印



(始良市) 納付者用

③

領 収 書

始良市

一金 1,550 円

コピー料金として
令和 2 年 8 月 17 日
始良市長

始良市長之印

①

領 収 証

始良市議会 志成会 様

No. 281

金額	¥ 2 1 6 0			
----	-----------	--	--	--

但 横断幕代として

内 訳
現金 _____
小切手 _____
手形 _____

消費税額等(%) _____

公益財団法人 始良市文化振興公社
代表理事 徳重武秀

印紙法第五
条第一項第
三項に基
き、印紙を
貼る必要
ありません。

係印
徳重武秀

コケヨ ウケ-390

②



領収書
RECEIPT

1003257783

下記の金額正に領収致しました。

RECEIVED FROM _____ 様

THE SUM OF ¥18,790- (税込) (TAX INCLD.)

印紙税申告納
付につき品川
税務署承認済

但し運賃・料金として
IN PAYMENT OF AIR FARE-FREIGHT

航空券番号
TICKET NUMBER 1311496435933

関連航空券番号
OTHERS *****

発券日
DATE OF ISSUE 2020年08月13日

備考
REMARKS クレジット(JL) ¥18,790

発行：日本航空株式会社 HNDPT

2020年08月13日

④

⑤

領 収 証

令和 2 年 8 月 17 日

始良市議会 志成会 様

金 30,000 円也

但 始良市議会「複合新庁舎とまちづくり」
講演会 (講師謝金) として
上記正に領収いたしました

住 所 東京都渋谷区

氏 名 JSC 株式会社
代表取締役 井口 智朗

合計 55740 円

うち 始輝 20531 円

市民くらぶ 11732 円

公明党始良市議団 5866 円

志成会 17611 円

会派合同講演会「複合新庁舎建設とまちづくり」

日時：令和2年8月17日 13時30分

会場：始良公民館2階 第1、2、3会議室

参加者 議員：19名（志成会・市政クラブ始輝・市民くらぶ・公明党始良市議団）

執行部：20名

一般：37名

講師：(株)JSC代表取締役社長 井口哲朗氏

演題：未来を見据えた公共施設 建設の在り方について

司会進行： 新福愛子議員（公明党始良市議団）

当日の流れ

13時30分 各会派代表挨拶 堂森忠夫議員

13時33分 参加者代表挨拶 武田氏

13時35分 議長挨拶 東馬場弘議長

13時40分 司会より井口氏紹介の後、講演開始

講演 「防災及び地域の拠点となる公共施設の在り方」

構造の特徴・メリット・デメリットについて

「LCトレーニングアリーナ（体育館）とスポーツビジネス」

LCアリーナの紹介、建設スピード等の説明

所見

・耐震、免震について

平成30年8月に基本構想、基本計画が策定され、構造物の専門家等が基礎免震構造ということで本市へ提案があり、執行部としては、自治体である本庁舎について、災害等が発生した時に、災害拠点、復旧の拠点、そのような機能が発揮できること、また、国からも庁舎を建設する際には、防災拠点施設として大地震後に補修することなく使用できる事の指導があったとのことでした。

市民アンケート調査及び市民説明会の実施からも「災害時に対応できる災害対応拠点機能があること」723名、24.3%あった。付加的機能では「避難所・備蓄などの災害対応スペース」631人、23.7%と庁舎に求める機能として、災害に強く、防災拠点となる施設が一番適している。

今回の講演で勉強となる建設コスト、ランニングコストは免震が非常に高い。しかし、地震エネルギーを半分以下に低減する可能性が高いとの事だった。耐震構造においては、建物全体で地震による揺れに耐える構造であり建設コスト、ランニングコストは免震、制震構造にくらべ安価であることが解った。人命を守るという面ではどちらも差がみられないようであった。さらに、4～5階建ての建屋では、免震耐震どちらも耐震性に差はない。本来の始良市複合新庁舎建設においては、免震がオーバークオリティという見解の意見もでており今後の地質調査結果、地殻変動の条件等も視野にいれ研修を継続すべきと考えます。

以上
志成会 松元卓也